

「多様な学び」のニーズ調査結果 ①調査概要

(1) 目的

「中学校の学習内容をもう一度学びたい」、「日本語を学習したい」など、幅広い学びのニーズを把握し、様々な学びを求める方への支援の在り方を検討するため。

(2) 概要

- ① 期間 令和6(2024)年5月10日(金)から同年6月14日(金)まで
- ② 対象 県内在住の以下の方
 - ・ 学齢期に十分な教育を受けられなかった方(義務教育未修了者、不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方)
 - ・ 日本語習得に困難がある外国籍の方(母国において中学校卒業資格を有する方と有しない方)
- ③ 方法 二次元コード付リーフレットを配布(多言語フォーム)
 - ※ リーフレット配布場所
県及び市町の公共施設、高齢者や就学者を支援する機関、外国人支援機関、道の駅 等

(3) 項目

◆ 属性

- ① 国籍 ② 年齢 ③ 性別 ④ 居住地

◆ 学び(直し)の目的や内容(複数回答)

- ・ 高等学校に進学するため中学校段階の学習内容をもう一度学びたい
- ・ 進学に関わらず、中学校までの学習内容をもう一度学びたい
- ・ 就学や進学のために必要な日本語を学びたい
- ・ 生活や就職のために必要な知識や技能を学びたい(英会話、パソコンなど)
- ・ 生活を豊かにする知識や技能を学びたい
- ・ 興味のある科目だけを学びたい(歴史、絵画など)
- ・ 日常生活を送るために必要な日本語を学びたい
- ・ その他(具体的に:)

◆ 自由記述

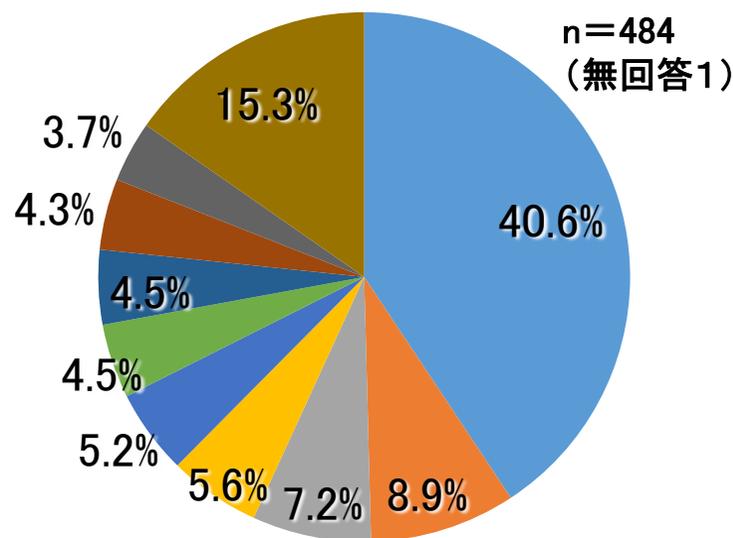
(4) 有効回答数

485件(日本語308件、英語78件、中国語14件、ベトナム語14件、ポルトガル語11件、スペイン32件、フランス語1件、韓国語2件、インドネシア語7件、シンハラ語1件、ネパール語3件、タイ語14件)

「多様な学び」のニーズ調査結果 ①回答者属性（国籍・年齢・性別）

- 回答者の国籍は、日本国籍がおよそ4割を占め、外国籍では、ネパール(8.9%)、ペルー(7.2%)、ベトナム(5.6%)、パキスタン(5.2%)、タイ(4.5%)、中国(4.5%)、フィリピン(4.3%)、スリランカ(3.7%)の順に多い
- 回答者の年齢は、40代(19.2%)が最も多く、30代(18.6%)、15～19歳(16.1%)と続く
- 回答者の性別は、男性と比較して女性の割合が多い

【国籍】

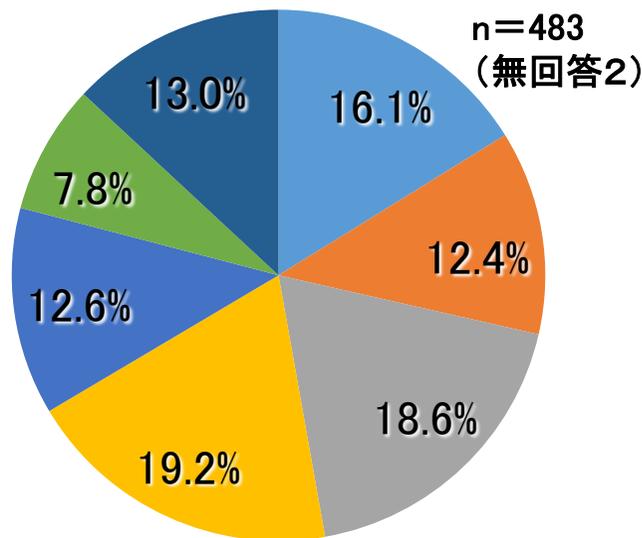


- 日本
- ベトナム
- 中国
- その他
- ネパール
- パキスタン
- フィリピン
- ペルー
- タイ
- スリランカ

《回答数(人)》

日本	ネパール	ペルー	ベトナム	パキスタン
197	43	35	27	25
タイ	中国	フィリピン	スリランカ	その他
22	22	21	18	74

【年齢】

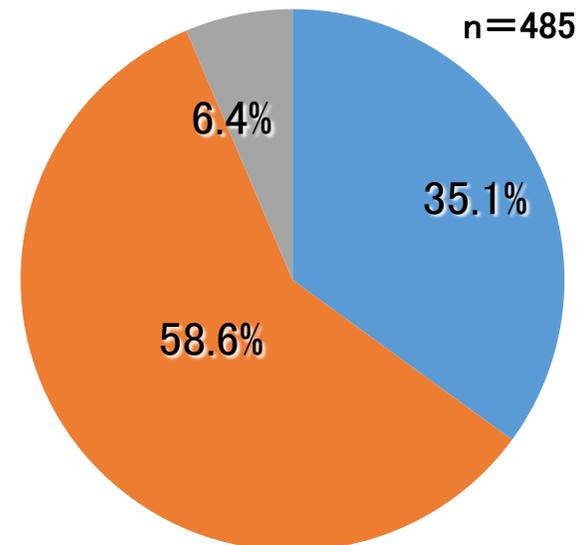


- 15歳～19歳
- 30歳～39歳
- 50歳～59歳
- 70歳以上
- 20歳～29歳
- 40歳～49歳
- 60歳～69歳

《回答数(人)》

10代	20代	30代	40代
78	60	90	93
50代	60代	70代以上	
61	38	63	

【性別】



- 男性
- 女性
- 回答しない

《回答数(人)》

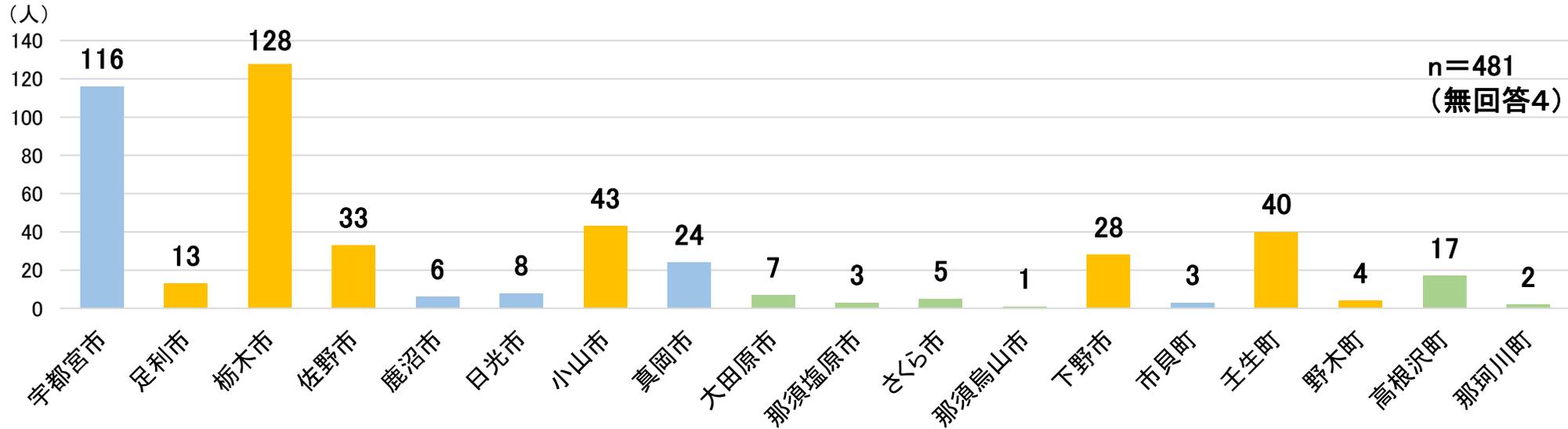
男性	女性	回答しない
170	284	31

※その他：インドネシア、ブラジル、インドほか20の国と地域

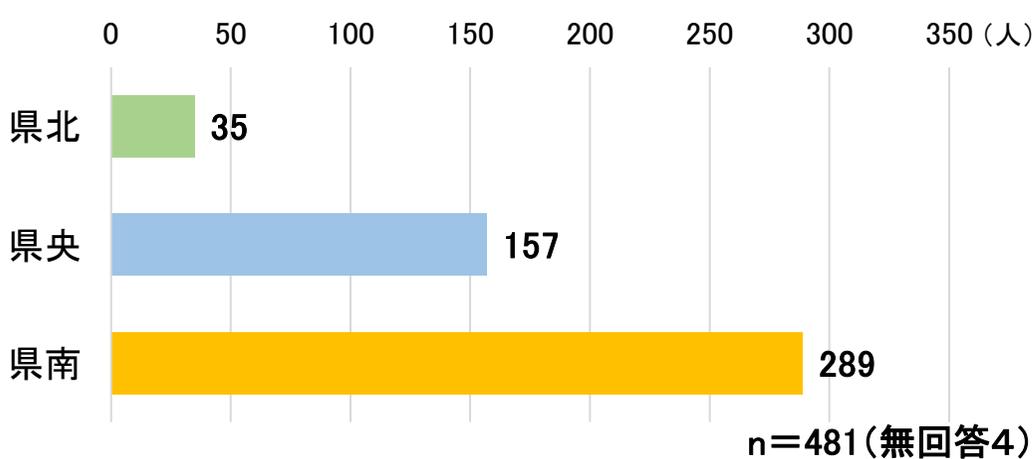
「多様な学び」のニーズ調査結果 ①回答者属性(居住地)

- 回答者の居住地は、栃木市(128人)が最も多く、宇都宮市(116人)、小山市(43人)、壬生町(40人)と続く
- 地域別に見ると、県南地区(289人)が最も多く、次いで県央地区(157人)となっている

【居住地(市町)】



【居住地(地域)】

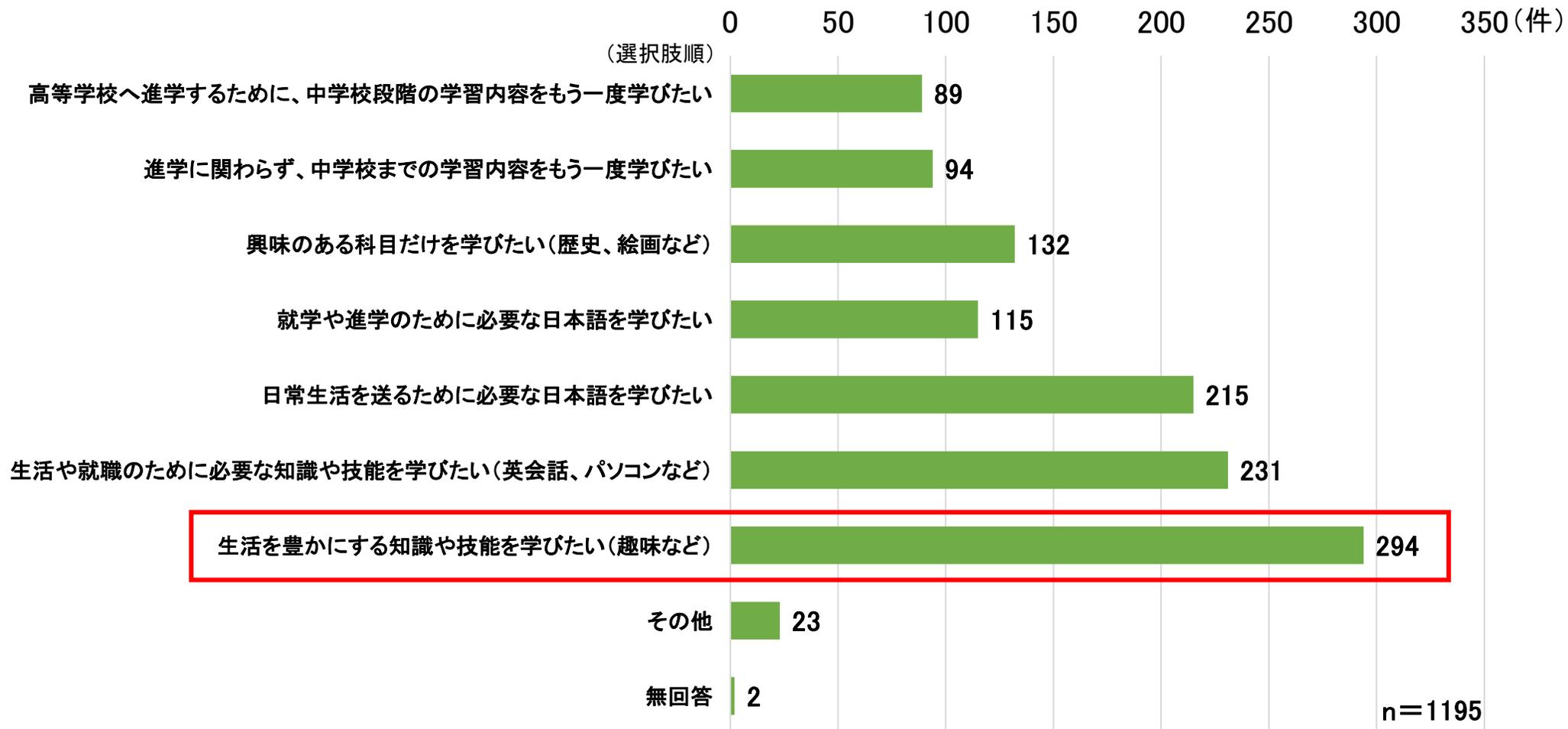


地域区分	教育事務所	市町
県北	塩谷南那須	矢板、さくら、那須烏山、塩谷、高根沢、那珂川
	那須	大田原、那須、那須塩原
県央	河内	宇都宮、上三川
	上都賀	鹿沼、日光
	芳賀	真岡、益子、茂木、市貝、芳賀
県南	下都賀	壬生、野木、小山、栃木、下野
	安足	佐野、足利

「多様な学び」のニーズ調査結果 ②学びたい目的や内容(全体)

○ 学びたい目的や内容は、「生活を豊かにする知識や技能を学びたい(趣味など)」(294件)が最も多く、次いで「生活や就職のために必要な知識や技能を学びたい」(231件)となっている。

【学びたい目的や内容】(複数回答)

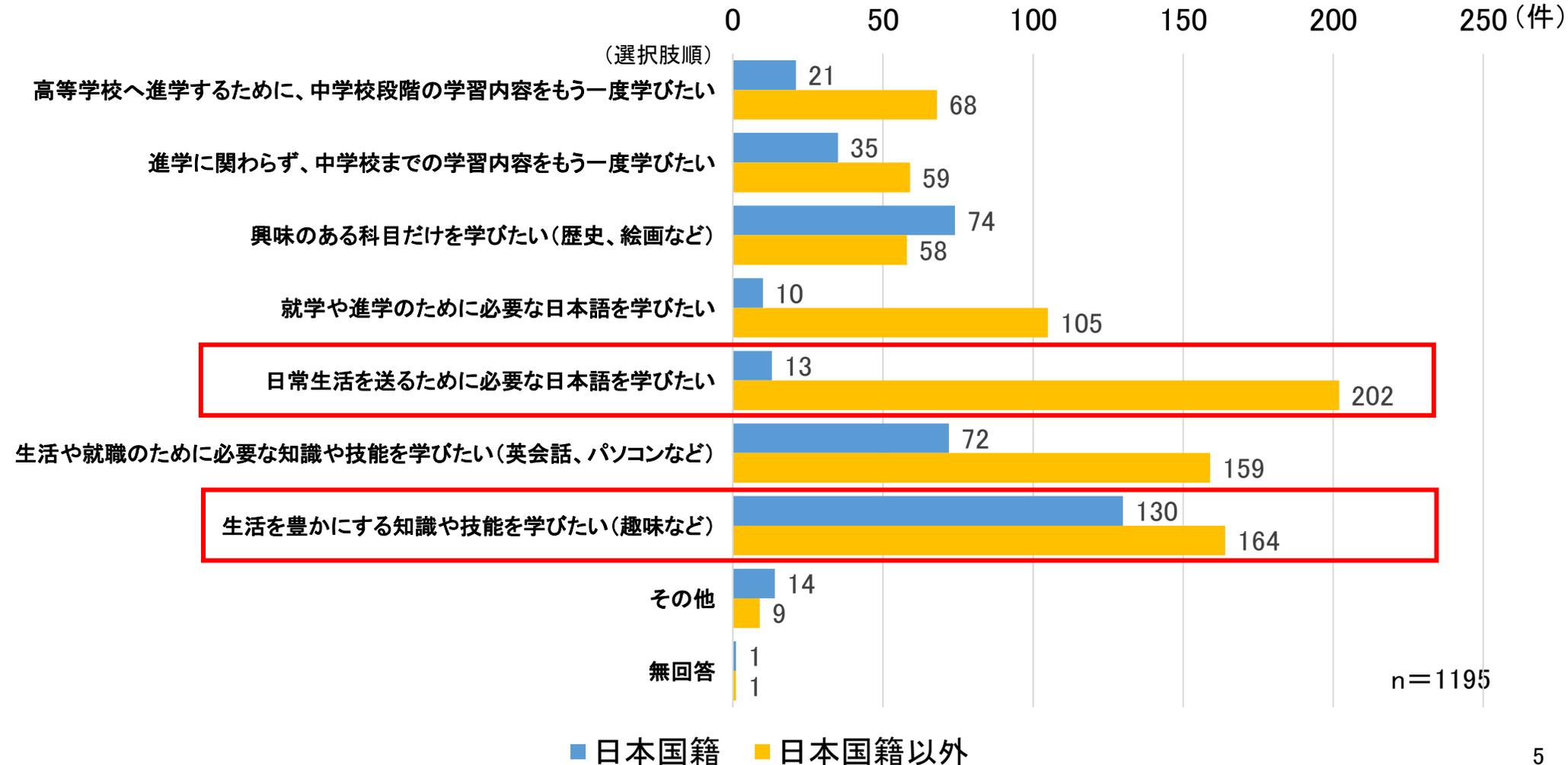


※「その他」の例 : 暇な時間を学べる時間にしたい、地域のこと、体操(健康のため)、災害対策、友だちをつくりたい など

「多様な学び」のニーズ調査結果 ②学びたい目的や内容(国籍別)

- 国籍別にみると、日本国籍では、「生活を豊かにする知識や技能を学びたい」(130件)が最も多い
- 日本国籍以外では、「日常生活を送るために必要な日本語を学びたい」(202件)が最も多い

【学びたい目的や内容】(複数回答)



「多様な学び」のニーズ調査結果 ③自由記述(抜粋1)

- ・ もう一度学び直したい。若い時は、生きるために精一杯だった。(70代以上、日本)
- ・ 諸事情があり教育を受けることができなかったので学び直したい。(70代以上、日本)
- ・ 不登校期間があり、その期間の学習が薄い状態になってしまっているので、公的な機関で学び直しができるのなら、希望したい。(40代、日本)
- ・ 不登校により、義務教育期間にきちんとした学習が受けられなかった方々にも、少し遅れてしまっても、学べる機会を作って頂きたいです。(30代、日本)
- ・ 進学に関わらず、また学びたいと思った時の選択肢のひとつとして存在していただけたらいいと思います。(10代、日本)
- ・ 学びたい人たちが、その人たちの生活に寄り添った形で、学べる環境があることが良いと思います。(50代、日本)
- ・ 平日の夜に授業があったらいいのになあ(50代、ペルー) ※スペイン語の回答を翻訳
- ・ ホームルームや会話の時間やクラスメイトとの交流があれば嬉しいです。(50代、日本)
- ・ 昼間は就業していて通学が困難な人のために、オンライン会議ツール等を使用して学校以外の場所で授業が受けられるようになると良い。(30代、日本)
- ・ 宇都宮市にも夜間中学が出来れば作っていただきたいです。通学しやすいので。(30代、ブラジル)

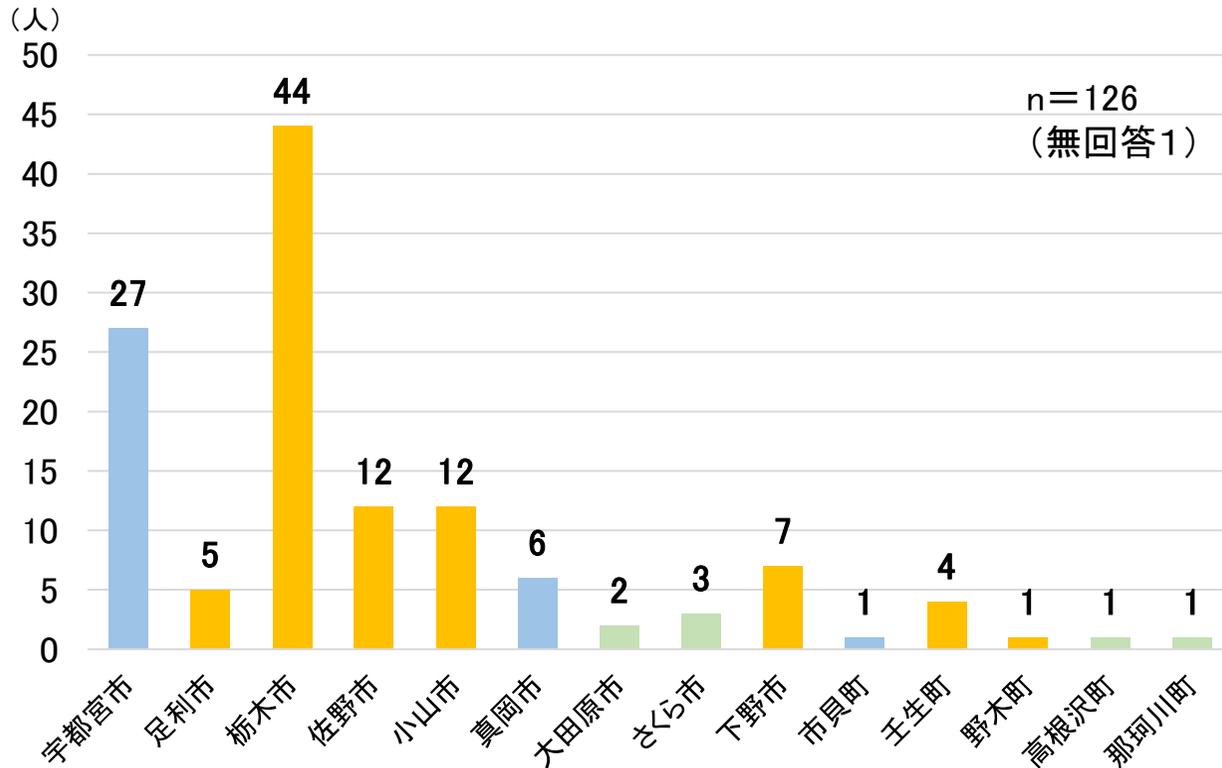
「多様な学び」のニーズ調査結果 ③自由記述(抜粋2)

- ・ 幼い子供が2人いるので、日常生活で使える日本語を学びたいです。(30代、ペルー)
※スペイン語の回答を翻訳
- ・ 出身国で勉強した分野でスキルをさらに伸ばすために日本語を学び、個人的および職業的向上に役立てたいと考えています(40代、ペルー) ※スペイン語の回答を翻訳
- ・ 日常生活や仕事場でのコミュニケーションを円滑にするために、日本語を学びたい(30代、ペルー)
※スペイン語の回答を翻訳
- ・ 日本に住んでいる外国人の親御さんの多くは日本語が上手く話せないので、子どもの行事や集会に全部参加することはできませんが、将来、異文化を共有できることが大事だと思います。(40代、ペルー)
※スペイン語の回答を翻訳
- ・ 専門的なキャリアを学ぶために、日本語を学びたいです(20代、ベネズエラ) ※スペイン語の回答を翻訳
- ・ 日本語を流暢に勉強して、日本のみんなに理解してもらえるようにしたいです(40代、ボリビア)
※スペイン語の回答を翻訳
- ・ 日本が好きで日本にいたいからいっぱい勉強したい(20代、アフガニスタン)
- ・ アルバイトや仕事に関する単語を学びたい。(10代、中国)
- ・ セミナーや講義など、フォーマルなイベントにおける公式の日本語を学びたい。(40代、インドネシア)
※インドネシア語の回答を翻訳

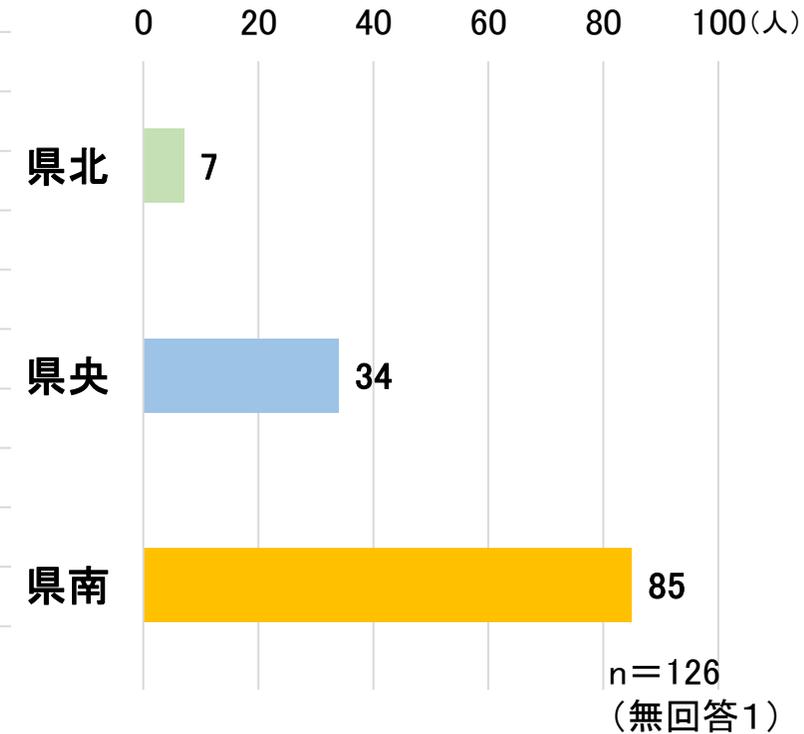
「多様な学び」のニーズ調査結果 ④分析(県立夜間中学関係 -居住地-)

- 求める学びの目的や内容として、県立夜間中学に係る学びのニーズの可能性のある「高等学校へ進学するために、中学校段階の学習内容をもう一度学びたい」及び「進学に関わらず、中学校までの学習内容をもう一度学びたい」のいずれかを選択した方(127人)の属性を分析
- 居住地では、栃木市(44人)が最も多く、次いで宇都宮市(27人)となっている
- 地域別にみると、県南地域(85人)が最も多く、次いで県央地域(34人)となっている

【居住地(市町村)】 ※県立夜間中学ニーズ



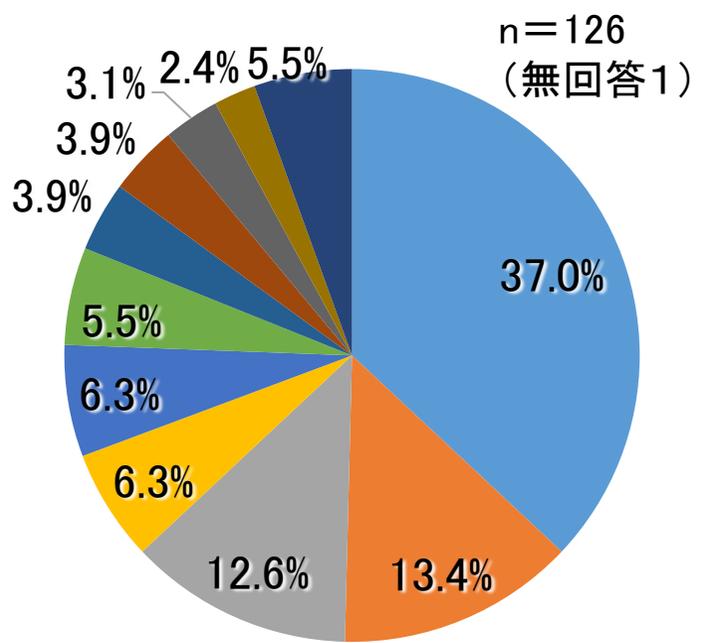
【居住地(地域)】 ※県立夜間中学ニーズ



「多様な学び」のニーズ調査結果 ④分析(県立夜間中学関係 -国籍・年齢-)

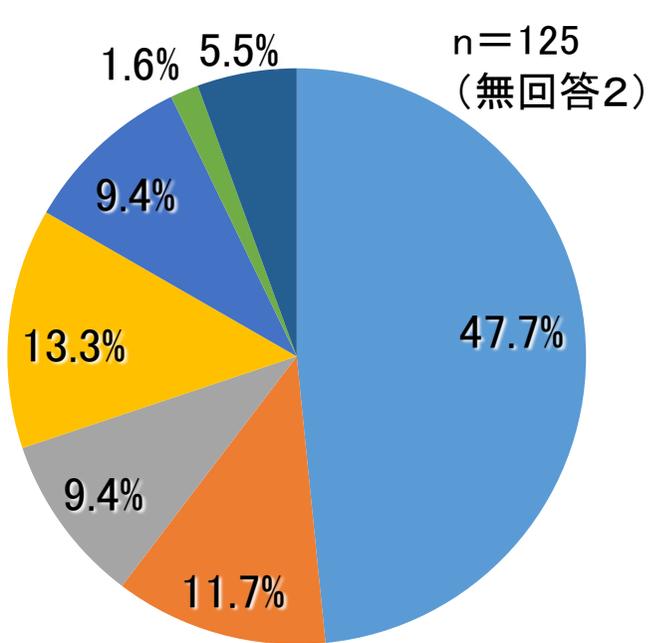
- 国籍では、日本国籍が約4割で、外国籍では、ネパール(13.4%)、パキスタン(12.6%)、フィリピン(6.3%)、ベトナム(6.3%)、ペルー(5.5%)、タイ(3.9%)、スリランカ(3.9%)、インドネシア(3.1%)の順となっている。
- 年齢では、15～19歳(47.7%人)が最も多く、次いで40代(13.3%)、20代(11.7%)の順となっている
- 性別は、男女ほぼ同数となっている

【国籍】 ※県立夜間中学ニーズ



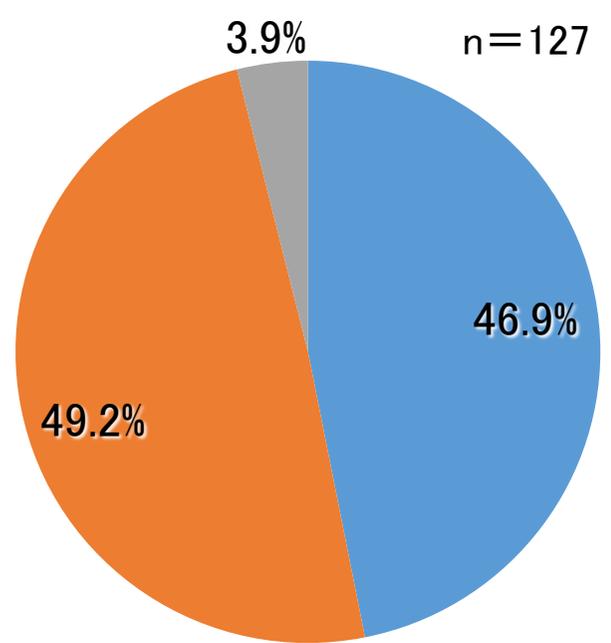
- 日本
- フィリピン
- タイ
- ブラジル
- ネパール
- ベトナム
- スリランカ
- その他
- パキスタン
- ペルー
- インドネシア

【年齢】 ※県立夜間中学ニーズ



- 15歳～19歳
- 20歳～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳～69歳
- 70歳以上

【性別】 ※県立夜間中学ニーズ



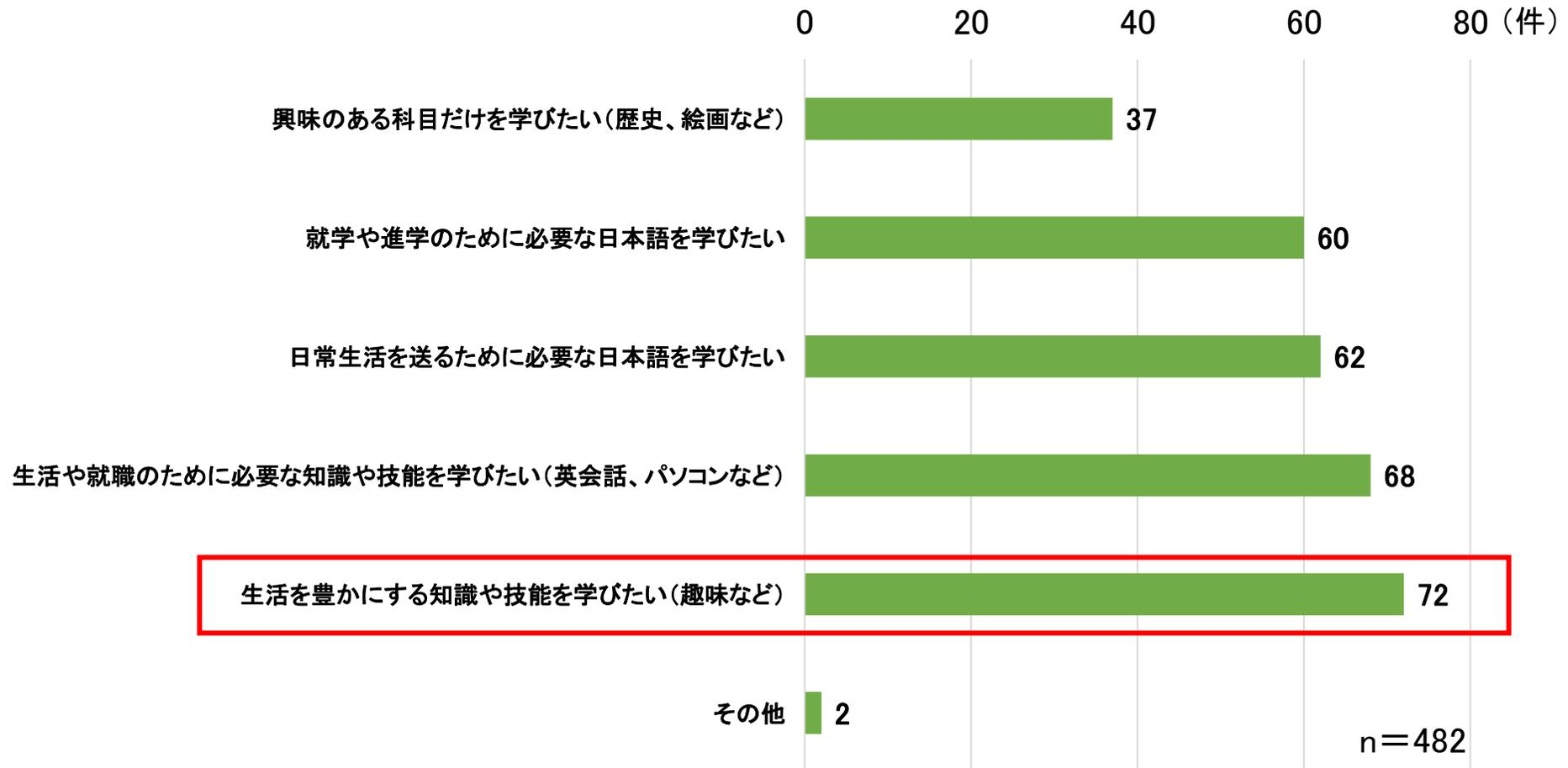
- 男性
- 女性
- 回答しない

※その他： インド、アフガニスタン、中国、モンゴル、ホンジュラス

「多様な学び」のニーズ調査結果 ④分析(県立夜間中学関係 -学びの目的等-)

○ 県立夜間中学に係る学びのニーズの可能性のある回答をした方が、そのほかに求める学びの目的や内容は、「生活を豊かにする知識や技能を学びたい(趣味など)」(72件)が最も多く、次いで「生活や就職のために必要な知識を学びたい(英会話、パソコンなど)」となっている

【学びの目的や内容】 ※県立夜間中学ニーズ



※「その他」: 不登校からの学び直し、日常会話をする上で一般常識と思わしき事についてわからないことが多く、会話が成立しないので教養を身につけたい